

こんな症状が見られたらすぐに動物病院に連絡し、連れて行きましょう。

- けいれんをおこしている。体がふるついている
- 動かない
- 視線が定まらない、目がぐるぐる回っている
- 呼吸が荒い、舌を出して苦しそう
- 舌の色が白っぽい、もしくは紫色に見える
- 咳が止まらない
- 体が冷たい、もしくは熱い
- 吐くのが止まらない
- よだれが止まらない
- 水のような下痢が続く、何回もウンチの姿勢をとる
- おしっこが出ない
- 血が止まらない
- 足を上げっぱなしにしている
- 触るとどこかを痛がって鳴く
- 目を閉じたままている、もしくは目をまぶしそうにしている
- 歯が折れた、または抜けた
- 急に顔が腫れた
- 後ろ足が動かず引きずっている
- 食べ物以外のものを食べてしまった
- やけどをした、凍傷になった
- お腹だけがふくらんでいる
- ヘビに咬まれた、ハチや毒虫に刺された
- おぼれて、ぐったりしている

もしケガやトラブルに出会ってしまったら、早急に動物病院に電話をして、獣医師の指示を受けましょう。

その時、ペットに起こっている状態を知っておくことで、獣医師が質問する内容に慌てず確実に答えることができるようになります。また、伝えた内容はその後の診断や治療において、とても大事な情報源にもなることでしょう。

ここであげるチェック項目は、その状態を獣医師に正確に伝えられるよう事前に確認しておきたいことです。慌てず、落ち着いて答えられるようにしておきましょう。

## チェックしておきたい項目

- どんな状態ですか？
- そうなってしまった原因はわかりますか？
- 意識はありますか？呼んだら反応しますか？
- 呼吸は落ち着いてしていますか？
- 舌はどんな色ですか？
- 歯ぐきの色はどんな色ですか？
- 今まで、なにか大きな病気をしたことはありますか？
- 定期的に飲んでいる薬はありますか？
- どこか痛がる場所がありますか？
- 正常に歩けますか？
- 食べ物以外のものを食べていませんか？
- どこか出血していますか？
- 体は冷たいですか？熱いですか？
- (吐いているとき)どんなものを吐きましたか？
- (下痢をしているとき)どんなものを下痢していますか？
- どこか腫れたり膨らんだりしていませんか？
- 皮膚の色は悪くありませんか？
- おしっこはちゃんと出ていますか？

※骨折や脊椎の損傷、内臓破裂などの可能性がある場合、無理に動かしたり抱きかかえようとすると悪化する可能性があります。状態を確認することは大事ですが、決して無理しない範囲でください。獣医師の指示に従いましょう。

